

別紙1-4 定款附属書漁業協同組合役員選挙規程例（総会選挙のみを行う場合）新旧対照表

（傍線部分は改正部分）

改正後	現行
<p>（選挙の通知及び公告）</p> <p>第二条（略）</p> <p>（備考）</p> <p>① 水産業協同組合法（以下「法」という。）第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、「及び監事」を「員外監事（水産業協同組合法（以下「法」という。）第三十四条第十三項に規定する監事をいう。以下同じ。）及び員外監事以外の監事（以下「理事等」という。）」に改めるところ。</p> <p>②（略）</p> <p>（選挙管理者等）</p> <p>第三条 組合長は、選挙ごとに理事会の決議により本人の承諾を得て正組合員の中から選挙管理者一人及び選挙立会人四人を選任するものとする。</p> <p>（候補者）</p> <p>第七条（略）</p> <p>2-7（略）</p> <p>（備考）法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「監事の候補者と」を「監事（員外監事を除</p>	<p>（選挙の通知及び公告）</p> <p>第二条（略）</p> <p>（備考）</p> <p>① 水産業協同組合法（以下「法」という。）第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、「及び監事」を「員外監事（水産業協同組合法（以下「法」という。）第三十四条第十一項に規定する監事をいう。以下同じ。）及び員外監事以外の監事（以下「理事等」という。）」に改めるところ。</p> <p>②（略）</p> <p>（選挙管理者等）</p> <p>第三条 組合長は、選挙ごとに理事会の議決により本人の承諾を得て正組合員の中から選挙管理者一人及び選挙立会人四人を選任するものとする。</p> <p>（候補者）</p> <p>第七条（略）</p> <p>2-7（略）</p> <p>（備考）法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「監事の候補者と」を「監事（員外監事を除</p>

<p>く。）の候補者と」に改め、第五項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>	<p>く。）の候補者と」に改め、第五項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>
<p>（投票）</p>	<p>（投票）</p>
<p>第九条（略）</p>	<p>第九条（略）</p>
<p>2／6（略）</p>	<p>2／6（略）</p>
<p>（備考）</p>	<p>（備考）</p>
<p>①・②（略）</p>	<p>①・②（略）</p>
<p>③ 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第三項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>	<p>③ 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第三項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>
<p>（当選人）</p>	<p>（当選人）</p>
<p>第十六条（略）</p>	<p>第十六条（略）</p>
<p>2／4（略）</p>	<p>2／4（略）</p>
<p>（備考）</p>	<p>（備考）</p>
<p>① 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改め、第四項中「理事と監事の選挙」を「理事、員外監事及び員外監事以外の監事の選挙」に、「理事と監事の双方」を「理事、員外監事及び員外監事以外の監事のうち二以上」に改めること。</p>	<p>① 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改め、第四項中「理事と監事の選挙」を「理事、員外監事及び員外監事以外の監事の選挙」に、「理事と監事の双方」を「理事、員外監事及び員外監事以外の監事のうち二以上」に改めること。</p>
<p>②（略）</p>	<p>②（略）</p>
<p>（当選の通知等）</p>	<p>（当選の通知等）</p>
<p>第十七条（略）</p>	<p>第十七条（略）</p>

<p>2 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>	<p>2 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>
<p>(就任)</p> <p>第十九条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>	<p>(就任)</p> <p>第十九条 (略)</p> <p>2・3 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「理事又は監事」を「理事等」に改めること。</p>
<p>(当選の取消し)</p> <p>第二十条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「水産業協同組合法（以下「法」という。）」を「法」に改めること。</p>	<p>(当選の取消し)</p> <p>第二十条 (略)</p> <p>2 (略)</p> <p>(備考) 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「水産業協同組合法（以下「法」という。）」を「法」に改めること。</p>
<p>(補欠選挙)</p> <p>第二十三条 役員の全部又は一部が欠けた場合は、前条の規定により当選人を定めることができるときを除き、その不足の員数につき、補欠選挙を行わなければならない。ただし、欠員数が理事の定数の三分の一未満であるとき若しくは監事の定数の三分の二未満であるとき又は役員に欠員を生じた時が役員の任期満了前三月以内である</p>	<p>(補欠選挙)</p> <p>第二十三条 役員中欠員を生じた場合において、その欠員数が理事又は監事の定数の三分の一以上になったとき又は理事会が必要と認めるときは、補欠選挙を行わなければならない。ただし、前条の規定により当選人を定めることができる場合を除く。</p>

ときは、次の総会まで補欠選挙を行わないことができる。
(削る。)

(備考) 法第三十四条第十三項の規定により員外監事を置く組合にあつては、本条ただし書きを次のように改めること。

ただし、欠員数が理事の定数の三分の一未満であるとき若しくは監事の定数の三分の二未満であるとき(員外監事の全部が欠ける場合を除く。)又は役員に欠員を生じた時が役員の任期満了前三月以内であるとき(員外監事の全部が欠ける場合を除く。)は、次の総会まで補欠選挙を行わないことができる。

2

前項の補欠選挙は、役員の任期の満了する日の九十日前の日以後はこれを行わない。

(備考) 法第三十四条第十一項の規定により員外監事を置く組合にあつては、第一項中「又は理事会が」を「員外監事の全部が欠けたとき又は理事会が」に改めること。